

自家用野菜を作りたいと袋栽培(おふくろさん)を始めました!

このところ新規事業として農業を検討したいという企業が増加していますが、個人的にもリタイア後に趣味と実益を兼ねて取り組みたいと尋ねてこられる方も増えています。そんな中、入門機としてキット化した「おふくろさん」を導入いただいた愛知県弥富市の加藤清さん(64才)を訪問しました。

加藤さんは市役所で教育関係行政に永年携わってこられました。退職後どうして過ごすかを検討されていましたが、自宅横に以前ランを栽培していた約50㎡の温室があったので、自家用野菜ぐらいは作りたいと装置の検討結果、コスト安、手軽さから「おふくろさん」を選定いただいたものです。培地

は土嚢用袋に有機培地を充填したものの、これに養液タンクと灌水チューブ、灌水ポンプで構成されています。

離れた所の畑(1200㎡)ではピワ・桃・ネクター・柿などの果樹を植えておられますが草とり作業が大変だそうです。このおふくろさんでは草取りがいらぬ点と機械が養分を含んだ肥料を自動的に撒いてくれるなど栽培手間の軽減が図れる……そんな点を評価いただいたものです。

現在、ししとう、なす、トマト、スイカ、いちじくなどを栽培されていますが、これ以外にも果菜・果樹・葉菜・花卉など様々な栽培品目に適用できます。加藤さんはこの6月からの栽培で収穫は

これからですが毎日ハウスを覗くのを楽しみにされているそうで健康にも役立っているとのこと。

この「おふくろさん」システムは、少ない初期投資で栽培が始められ、さらに新開発の水分センサーで培地の湿度を計測し、連続的なフィードバック制御を可能としたものです。初心者が最初に戸惑うのが「どれぐらい水をやったらいいのだろう」の灌水管理です。湿度を数値化することによってプロ並みの制御をすることも夢ではなくなりました。この水分センサーを組み込んだ「おふくろさん」システムはこの7月25日～27日幕張で開催される国際園芸展でも展示する予定です。(編集子)

